

# はなの輪

広島市植物公園植物友の会

2022年4月-6月 通巻第171号



園長のおすすめ 2021年4月3日号より

## オオシマザクラ *Prunus speciosa* (Koidz.) Nakai

伊豆地方に特産するオオシマザクラは、「ソメイヨシノ」の片親として有名な野生のサクラです。樹勢が強く、自生地では幹の高さが15メートル、直径が2メートルにもなる巨木が知られています。花が大きく美しいので観賞用に植えられるほか、幹から取れる木材は建築材や家具材になり、葉は桜餅に使われます。

植物公園の花の進化園にあるオオシマザクラは、姿が良く、園内で一番元気なサクラです。

(園内位置：花の進化園)

[写真・文 世羅 徹哉]

## 園長のおすすめ

植物公園ブログでは、園長のおすすめを定期連載中です。

見ごろの植物や最新のイベント情報も掲載しています。



<https://blog.hiroshima-bot.jp>



## 研究活動発表会のWeb公開について

植物公園は、平成17年から安佐動物公園と合同で「研究活動発表会」を毎年2月頃に開催しています。平成21年からは森林公園こんちゅう館も加わり、3つの施設の合同で継続していますが、これは、日常の業務の中で見つかった素朴な疑問を解明するための取り組みや、プロジェクトを組んで行った調査活動など、職員が行った研究活動を市民の皆様にお伝えすることを目的として実施しています。

ところが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年（令和3年2月）は初めて中止となり、今年（令和4年2月5日開催予定）も同じ理由で中止せざるを得なくなりました。ちなみに、今年の植物公園は「国内最大級の『オーストラリアバオバブ』の開花について」と題し、栽培・展示課の堀川技師による発表を予定していました。このような、日頃の活動の成果をお見せする機会を2年続けて逃したことは非常に残念でしたので、何らかの形で発表につなげたいと思い、3施設で協力し、今回発表を予定していた内容について2月12日からYouTubeを使った動画配信を開始しました。

みんなで会場に集まり、生で発表を行い、直接質疑応答するのが理想だと思っています。とはいえ、大人数が一カ所に集まることが推奨されない状況の中ですので、録画であり、相互のやり取りはできないことは仕方ないとしても、とにかく発表することができたのは一つの成果でした。インターネットが使える環境であればいつでも視聴できるので、考え方によっては、むしろ良かったのかもしれない。

なお、本記事でご紹介している動画は、それぞれの施設の公式ホームページからご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。

[文 濱谷 修一]



植物公園 発表



安佐動物公園 発表



森林公園こんちゅう館 発表

### Youtube動画へのリンク先

お手持ちのスマートフォンのカメラで右のQRコードを読み込んでください。



植物公園



動物公園



こんちゅう館

# 2022年4月～6月 展示会・イベント案内

5/4 (水・祝)

## みどりの日・植物園の日記念行事

入園料無料（要駐車料）。オリエンテering（先着800名）やコンサート、地元農産物の即売などのイベントも開催。

5/7 (土)  
～ 5/22 (日)

## ローズフェスティバル

歴史的な古品種など、県内最多の850品種のバラがお出迎え。講習会やガイドツアーなどのイベントも開催。

5/28～6/19

## ハナショウブ&アジサイまつり

見ごろの時期に合わせ、日本庭園周辺でのお茶席（予定）や実演会などを開催。

## 展示会のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、展示会・イベントを中止・延期する可能性があります。

「草木染の世界」展	共催：広島草木染の会	2/26～4/6	展示資料館
ゼラニウム展		3/5～4/17	展示温室
ボタニカルアート作品展	共催：NHK文化センター ボタニカルアート教室	4/9～5/5	展示資料館
サクラソウ展	協力：植物友の会植物同好会	4/16～4/20	屋外展示場
エビネ展	共催：安芸えびね研究会	4/23～4/26	展示温室
春の山野草展	共催：広島山草同好会	4/23～4/27	屋外展示場
春の洋ラン展	協力：広島洋蘭倶楽部 他	4/29～5/5	展示温室
クレマチス展	共催：日本クレマチス協会広島支部	4/29～5/5	屋外展示場
セッコク・長生蘭展	共催：瀬戸内セッコク愛好会	5/7～5/12	展示温室
趣味のボタニカルアート展	共催：花も実もある会	5/7～6/8	展示資料館
植物友の会植物同好会ロビー展示	協力：植物友の会植物同好会	5/10～5/15	展示資料館 ロビー
ハーブ展	協力：ハーバルアソシエーション	5/14～5/26	展示温室
遅咲きクレマチス展	共催：日本クレマチス協会広島支部	5/14～5/17	屋外展示場
セントポーリアとイワタバコの仲間展		5/28～6/9	展示温室
アジサイ展		5/28～6/19	屋外展示場
初夏の小品盆栽展	共催：広島小品盆栽会	6/11～6/13	展示資料館
ウチョウラン展	共催：広島ウチョウラン保存会	6/11～6/16	展示温室
広島市植物公園写生大会作品展		6/18～7/18	展示資料館
ビザールプランツ（珍奇植物）展		6/22～7/10	展示温室

# Event Information 2022 4-6

植物園で開催されるイベントを紹介します

## 4月

- さくら写真撮影講習会 (各日先着20名)  
4月2日(土)・9日(土) 午後1時～3時
- ポタニカルアート公開制作  
4月23日(土)・24日(日)  
午前11時～正午、午後1時～3時
- 春の山野草実演会 (先着50名)  
4月24日(日) 午後1時～2時
- エビネ実演会 (先着50名)  
4月24日(日) 午後2時半～3時半

## 5月

- クレマチス実演会 (先着50名)  
5月3日(火・祝) 午後1時半～2時半
- 洋ラン講演会 (先着100名)  
5月5日(木・祝) 午後2時～3時
- うらら池よもやま話 (先着100名)  
5月7日(土) 午前11時～正午
- バラ講習会 (先着100名)  
5月8日(日) 午後1時半～3時
- セッコク実演会 (先着10名)  
5月8日(日) 午後1時半～2時半
- ハーブ実演会 (先着50名)  
5月14日(土) 午前11時～正午
- ハーブ展解説 (先着100名)  
5月15日(日) 午前11時～正午
- 趣味のポタニカルアート色付け体験  
(先着20名)  
5月15日(日) 午後1時半～2時半

## 6月

- モリアオガエル観察のすすめ (先着100名)  
6月4日(土) 午後1時半～2時
- アジサイ実演会 (先着50名)  
6月5日(日)・11日(土) 午前11時～正午
- 小品盆栽実演会 (先着100名)  
6月11日(土) 午後1時半～2時半
- ハナショウブ実演会 (先着50名)  
6月12日(日) 午前11時～正午
- ビザールプランツ講演会 (先着100名)  
6月26日(日) 午後1時半～3時半

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、イベントを中止・変更する可能性があります。来園前に最新の状況を植物公園ホームページや電話でご確認ください。

- \*毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内しています
- \*毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時～は、園内で職員による植物うんちくガイドを実施しています

申込制のイベント ※往復ハガキに催し名・住所・氏名・電話番号(・希望日)を記入してお申込みください。植物公園ホームページからお申込みいただけます。

催し名・日程	内容等	定員	締切	申込QR
春のガーデニング講座 4月16日(土) 午後1時半～3時半	「春風に揺れるバスケット型寄せ植え」をテーマに季節の鉢を作ります 材料費3,000円	20名 (抽選)	4月4日 【必着】	
先生と子供のための森の幼稚園 6月5日(日) 午前10時～11時半 午後1時半～3時	お山に登ろうをテーマに、自然の中で遊びます。年中・年長の子供と保護者、幼稚園等の先生が対象です。保険代100円。	各回16名 (抽選)	5月9日 【必着】	
暮らしに役立つハーブ講座 6月25日(土)、7月2日(土)、 7月9日(土) 午後1時半～3時	テーマ：ハーブについて (詳細未定) 材料費3,500円	30名 (抽選) <small>*3回出席できる方</small>	6月8日 【必着】	

## 塊茎植物・塊根植物（コーデックス）

## Caudex Plants



観宝玉（フョークイエラ科）



亀甲竜（ヤマノイモ科）

ペラルゴニウム・クリスマスフォリウム  
（フクロソウ科）

塊茎植物・塊根植物とは、多肉植物の一つの形態で、大温室のオーストラリアバオバブの様に株元が大きく膨らんだ植物の総称です。今年は、これらの“変わり者の植物”を集めた「ビザールプラント（珍奇植物）展」を6/22～7/10の会期で、植物公園では初めて開催します。

## 花の進化園の春

## Spring-Blooming : Phylogenetic garden



チューリップ（ユリ科）



イチゴ（バラ科）



ハナビシソウ（ケシ科）



フレンチラベンダー（シソ科）



コムギ（イネ科）



ワスレナグサ（ムラサキ科）

花の進化園にはきれいな花だけでなく、ハーブや穀物などの有用植物もたくさん植えられています。春は麦のなかまが「実りの秋（麦秋）」を迎える時期でもあります。最近では、裏作で麦を植えることも少なくなったので、実物をご存じない方も多いかもかもしれません。どこかで名前だけは聞いたことがある“身近な植物”の“本物”をぜひ観察してみてください。

# 4月～6月に見ごろを迎える植物



ナツツバキ  
(ログガーデン)



リビングストーンデージー  
(花の進化園)



クリンソウ  
(花の進化園)



ヒスイカズラ  
(大温室)



オオガタハウケン  
(サボテン温室)



ヤマツツジ  
(ツツジ・シャクナゲ園)



イブキジャコウソウ  
(ロックガーデン)



バラ 'グラナダ'  
(バラ園)



アジサイ 'アナベル'  
(日本庭園)



ハナショウブ '宵螢よいほたる'  
(ハナショウブ園)



エビネ  
(日本庭園奥)



ヒトツバタゴ  
(香りの小径)

冬の間に、古くなった桜の剪定や施肥、芝生のエアレーションなど、植物を良い状態で管理するための様々な作業を行いました。今年の冬は久々に寒い日が続いたので、ウメやセツブンソウなどの開花は少し遅れました。ソメイヨシノの開花は平年並みの予想です(広島の平年は3/25)。園内には、八重桜も多数植栽しており、4月中旬まで長く桜を楽しむことができます。 [写真・文：久保 晴盛]



# Plant Doctor Q&A

植物公園では、緑の相談窓口を設置しています。  
家庭園芸のお困りごと、何でもご相談ください。  
[☎082-922-3600 金曜を除く午後1時～4時]

**Q. 植物公園で1月にチューリップが咲いているのを見ました。家庭でも真冬に花を咲かせたいと思うのですが、どうしたらよいですか？**

A. 植物公園でご覧になったチューリップは、種苗メーカーがあらかじめ開花に必要な低温を人工的に与えて促成処理したもので（詳細は企業秘密）、植物公園ではそのポット苗を入手して栽培しました。寒い時期に開花するため、殺風景になりがちなガーデンを華やかに彩るだけでなく、通常よりも開花期間が長くなるというメリットがあります。

家庭では特別な設備がないので、厳冬期に戸外で開花させることは難しいですが、通常の開花期より数か月早めることは可能で、その方法をご紹介します。

8月下旬から9月に球根を入手したら、紙袋に入れ、冷蔵庫のできるだけ温度変化の少ない5°C前後の野菜室か冷蔵庫の奥のほうに2か月間入れておきます。湿気を持つと根が出て傷んでしまうので、ポリ袋ではなく紙袋を選びましょう。

11月に球根を取り出し、土に植え、たっぷりと水やりします。11月中は戸外で栽培し、根を十分にさせます。鉢植えの場合は、12月に暖房の効いた暖かい部屋に取り込み、芽が出たら室内の日当たりのよい場所で管理すると、1月中下旬から開花がみられます。庭植えの場合、あるいは鉢植えでもそのまま戸外で育てると、2月下旬から3月に開花します。

[文 島田 有紀子]

**Q. 冬にクリスマスローズの開花株を購入し、そのまま鉢で花を楽しみました。春以降の管理はどうしたらよいでしょうか。**

A. 気温の上がる4月ごろは開花最盛期が過ぎ、株は消耗しています。花がらが残っているようであれば切り取ります。また、開花株を購入した場合、鉢の中で根が回りきっていることが多いため、遅くとも4月中の植替えをお勧めします。鉢底で巻いている根をほぐし、根鉢の肩や側面、底の土を1cmほど落として鉢増しするか、地植えにしましょう。

なお、5号鉢未満の小さな株は地植えすると根の成長が優先され、翌シーズン開花しないことがあるので、そのような株で翌シーズンも花を楽しみたい場合は、鉢増しをすると良いでしょう。クリスマスローズは日本の高温多湿な夏の気候が苦手なので、地植えでも鉢植えでも、水はけの良い土に植え、蒸れることがないように育てましょう。

4月は開花で消耗した体力を回復させ、夏越しに備えるために施肥も行います。6月には生育を停止するので、そのころには効果が切れる肥料を用いましょう。

地植えにする場所や鉢植えを置く場所は、6月から9月下旬にかけて西日の当たらない風通しの良い場所や、午前中だけ日が当たり午後は涼しい場所が理想的です。そのような場所がない場合、遮光率50%～70%の遮光ネットを使用するのが有効です。順調に夏越しができれば、気温が下がってくる10月以降、新芽が伸びて生育が再開します。

[文 西内 良]

**Q. 観葉植物のテーブルヤシが大きくなり困っています。ヤシのなかまは仕立て直しができないと聞いたのですが、何とかありませんか？**

A. ヤシのなかまは成長点（新芽が出る部分）が幹の先端にしかないので、他の植物の様に剪定で樹形を整えることができず、幹の途中で切ると枯れてしまいます。そのため、地上部の管理は、伸びるに任せ、傷んだ葉を取り除くことが基本になります。

ただし、テーブルヤシのなかま（カマエドレア属）は例外で、「とり木」で仕立て直しをすることができますので、簡単にやり方を説明します。

①初夏（5～7月）に根を出させたい場所の茎を2～3 cm幅でナイフで切り込みを入れ、緑色の表皮をはがす（下葉が落ち、根がその場所からすでに伸び出している場合は不要） ②湿らせたミズゴケを処理した部分に巻き付け、乾燥しないようビニールで覆う ③数か月後、根が十分に伸びたことを確認して直下の茎を切り、新しく用意した鉢に植える

下葉が落ちて見苦しくなったテーブルヤシをお持ちでしたら、お試しください。[文 久保 晴盛]

## おもとの葉芸と斑 Foliage varieties of *Rohdea japonica*

今回はおもとの葉芸についてご紹介します。おもとは日本の古典園芸を代表する植物のひとつで、一年中青々とした葉を茂らせ、赤い実を付けることから縁起物としても愛されています。園芸植物としてのおもとの魅力は、「葉芸」と呼ばれる独特の葉の形の変化や、様々な斑の美しさにあります。巧みな栽培によって引き出される芸は、今までも、これからも変わらず多くの人を魅了することでしょう。



**甲竜 (こうりゅう)**  
葉の中央に現れたひだ状の突起



**雅糸竜 (がしりゅう)**  
細かい甲竜が筋状に並んで現れたもの



**跳ね竜 (はねりゅう)** 甲竜・  
雅糸竜から飛び出すように現れた突起



**熨斗葉 (のしば)** 熨斗を  
折ったような形をしている葉



**獅子葉 (ししば)**  
葉裏に向かってカールした葉



**裏雅糸竜 (うらがしりゅう)**  
葉の裏側に現れた雅糸竜



**覆輪 (ふくりん)**  
葉を縁取るように入った斑



**縞 (しま)** 葉の基部から  
先端にかけて筋状に入った斑



**図 (ず)** 大小のモザイク  
状の斑が全体に現れたもの



**虎 (とら)**  
大小の斑が不規則に現れたもの



**千代田斑 (ちよだふ)**  
細かい筋状の斑が全面に入ったもの



**曙 (あけぼの)**  
株元から葉先にかけて現れた斑

[写真・文 大矢祐一郎]

 **広島市植物公園**

広島市佐伯区倉重三丁目495

☎ 082-922-3600 📠 FAX 082-923-6100

- 開園時間 午前9時～午後4時半 (入園は4時まで)
- 休園日 毎週金曜日
- 入園料 大人510円、高校生および65歳以上170円、中学生以下無料
- 駐車料 軽・普通自動車450円、中・大型車1,400円

